

麻生菊花会 第四回講習会

日時 令和6年6月12日

場所 麻生区役所 4F 会議室

講師 境 幸夫

摘心 整枝

摘心

5号鉢に鉢上げして20日位したら、摘心の適期になりますので、摘心の前2回程液肥を与え勢いをつけて摘心をする。

鉢上げより展開葉が三枚位増えてきて、先端の芽が膨らんできたら摘心の適期です。

先端の芽をピンセット、爪楊枝等で芽を小さく摘心する。

摘心後700倍のビーナインを散布する。

摘心適期は品種によって違うので、芽の状態を観察しながら摘心時期を決める。

摘心が早いと頂芽優勢といった現象がおきて、三枝がそろわなくなります。

摘心後先端から7日位で再び伸び始める場合が良くあります、これは摘心は失敗しているので再度摘心する。

摘心後20日くらいで三枝が14cm程、延びてきたら成功です。

14cm程延びて来たら三枝に分ける。

整枝

5号鉢に鉢上げ後三枝が15cm位に伸びたら整枝の適期です。

整枝の前日から灌水は控えてしおれ気味にしておく。

整枝の手順

φ15mm前後のアルミ線を50cm位に切り、各側枝の下に添わせる。

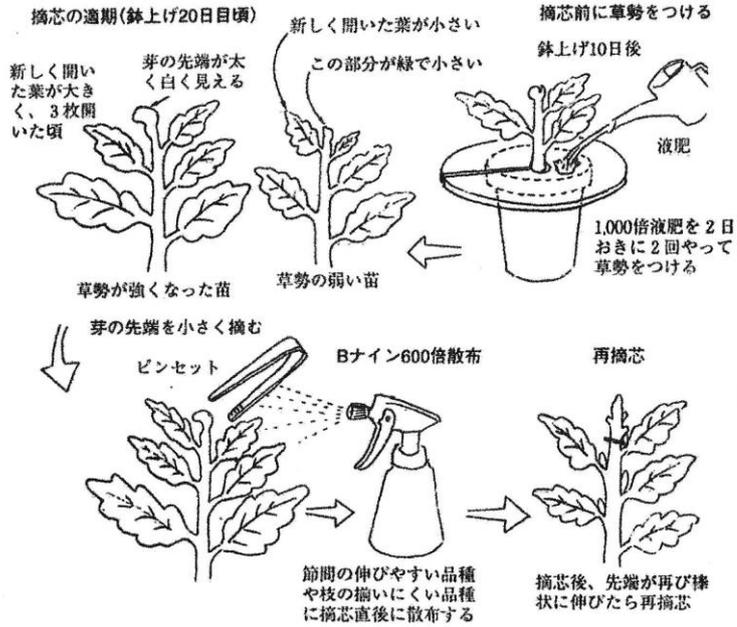
アルミ線に各枝をビニール紐でしっかり巻きつける。

三枝を曲げたら天地人に合わせて12cm~13cmで立ち上げる。

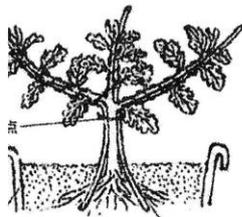
夏場対策

夏場の直射日光は老化を早め、茎葉を固くするので夏場対策としては、寒冷紗（透過率50%前後）をAM10:00~PM5:00位まで覆う。

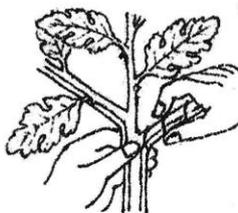
## 摘芯 整枝 (三枝)



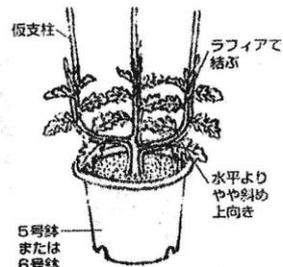
## 三本仕立ての點



または アルミ線3本を鉢土に  
深さ5cmほど差し込む  
が分岐点から長さ12~15cm  
たときに誘引を行う



ラフィアを巻いた方向に枝をねじりながら、下方に曲げるのがコツ



5号鉢  
または  
6号鉢

水平より  
やや斜め  
上向き